

平和祈念展

in 福岡

主催：平和祈念展示資料館（総務省委託） 共催：福岡市
後援：福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、西日本新聞社

みらいへ伝える体験者の記憶



シベリア抑留者が飢えに耐えかね、袖の部分をパンと交換した防寒外套（平和祈念展示資料館所蔵）

戦争が
終わってからも、
苦しくつらい
体験をした方々に
関係する資料の
展示を通して、
忘れては
いけない記憶を
次の世代に
つなぎます。



博多引揚援護局が発行した引揚証明書（福岡市所蔵）

ギャラリートーク

平和祈念展示資料館の学芸員による展示解説を行います。参加者には記念品を進呈します。
11月21日 木 14:00 から（約40分）※事前申込不要

ワークショップ

満州からの引揚者が見た赤い夕日をイメージしながら、ビー玉で万華鏡をつくります。
11月24日 日 9:30～16:30 ※先着200名（お1人様1個）まで

会場



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

交流ギャラリー 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル

令和元年

11/21 木 ▶ 11/26 火

9:30～18:00 ※22日 金、23日 土 祝は20:00まで

入場無料



「国境を越えシベリアへ」早田貫一 画（平和祈念展示資料館所蔵）



「収容所の冬景色」佐藤清 画（平和祈念展示資料館所蔵）



博多埠頭に着いた満州からの引揚者（米国立公文書館資料）



DDT 消毒を受ける引揚者（米国立公文書館資料）

平和祈念展

みらいへ伝える体験者の記憶

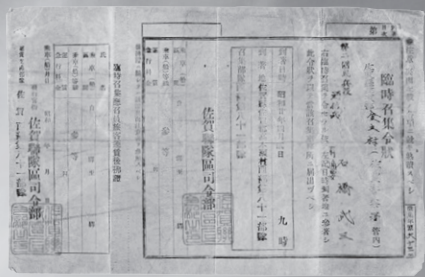
入場無料

平和祈念展示資料館（東京・西新宿）では、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を多くの人たちに知ってもらうため、全国各地で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 福岡」では、当資料館が所蔵する代表的な資料のほか、共催の福岡市が所蔵する引揚港・博多に関する実物資料を展示し、さまざまな視点から体験者の労苦を伝えます。

兵士

さきの大戦において、国のために家族を残し、危険な戦地に向かい、命をかけて戦務に従事し、大変な労苦を体験された方々について紹介します。



戦争で多くの兵士が必要になり、徴兵検査に合格した男性に出された臨時召集令状（赤紙）

〈平和祈念展示資料館所蔵〉

戦後強制抑留者

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられた方々について紹介します。



収容所で、抑留者が白樺の木を削って作った食器

〈平和祈念展示資料館所蔵〉

海外からの引揚者

敗戦によって外地での生活のよりどころを失い、身に危険が迫る過酷な状況の中をくぐり抜けて、祖国に戻ってこられた方々について紹介します。

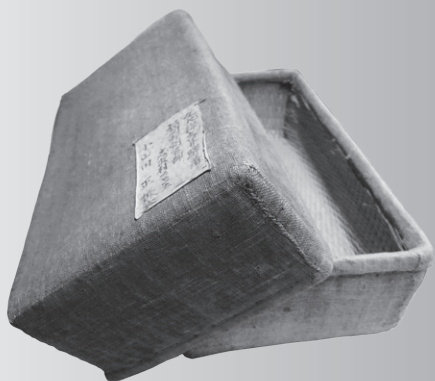


満州から引き揚げる途中、母親が娘に着せるため、亡くなった赤ん坊のおむつで作ったワンピース

〈平和祈念展示資料館所蔵〉

特別展示 「引揚港・博多」

終戦直後、博多港は日本最大級の引揚港として、多くの引揚者を受け入れました。この特別展示では、博多港に引き揚げてきた人々が持ち帰った貴重な物や、引揚援護に関する資料などを紹介します。



引揚者が荷物を運ぶために使った柳行李

〈福岡市所蔵〉

会場



福岡アジア美術館

Fukuoka Asian Art Museum
交流ギャラリー（8階）

福岡市博多区下川端町 3-1
リバレインセンタービル



市営地下鉄

中洲川端駅 下車、6番出口より徒歩すぐ
福岡空港から福岡空港駅より9分
JR博多駅から博多駅より3分
西鉄福岡駅から天神駅より1分

西鉄バス 車

川端町博多座前 バス停下車、徒歩すぐ
太宰府方面から
都市高速 千代ランプより車で約7分
北九州方面から
都市高速 呉服町ランプより車で約5分
有料駐車場…リバレインセンタービル地下4階

平和祈念展示資料館（総務省委託）

入館無料

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33 階
Tel. 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>